

三笠ニューズ

発行所
東京都千代田区猿樂町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京(292)1411 大代表
テレックス 222~4607
郵便番号 101
PR旬報 年4回発行

新年あけましてお目出度うございます。みなさまもお揃いで良い年をお迎えになったことと存じます。

三笠産業は昨年創立五十周年を迎えることができました。みなさま方から身に余る祝福とほげましの言葉を頂戴いたしました。いま振り返って見ましても当日の感激を思い起します。

三笠にとりて記念すべきこの年、内外の厳しい情勢にも拘らず、お蔭さまで営業成績は前年を上まわり、目標を達成することができました。とりわけ国内に於きましては、内需拡大方針に伴う景気の回復により、近來にない良い成績を収め新年を迎えられました。これもひとえに常に変わらぬご支援ご愛顧の賜物と心から感謝申し上げます。

海外営業の最も大きな市場であるアメリカでは、昨年から本格的に登場した二機種種の基礎振圧用新型振動ローラーが、同クラスのものに比べ格段と優れているとの評価を得まして、アメリカだけでなくカナダに於きましても好調な売れ行きを示しました。厳しい円高のなかにあつても、現地のニーズを捉えた技術的にも優れた製品を投入することで、営業成績に大きな陰りを見せなかったことは幸いでした。今年もこの姿勢をたゆまず続けるため、既に計画にのっとり進行中でございます。

三笠産業創立五十周年の記念事業の一環として、部品供給を集中管理し、併せてアフターサービスの向上と円滑化を計るため、埼玉県春日部市に部品サービスセンターを建設。昨年六月よりみなさまにご利用頂いております。また、技術研究所内には防音テスト室をつくり、新製品



謹賀新年

三笠産業株式会社
取締役社長 京谷達也

等の耐久試験の能率向上に大いに寄与いたしております。

昨春秋、中曽根内閣の政策を継承した竹下内閣が誕生。土地問題の解決を当面の課題に掲げているようですが、日毎に厳しさの度を加えている為替の状況は、既に厳しいなどと言う表現を通り越し、いま以上に円高が進行すると、景気の低迷、日本経済の破壊をも招きかねない深刻な事態が到来するとも言われています。もはや企業努力だけに頼ってこれを乗り切るのではなく、政府は財政面での強力な施策により、前途に光明を見出せるよう、後手にまわらぬうちに、早急に手を打って貰い度いと思ひます。

今年辰年。龍は雲を呼び天に昇ると言われます。五十一年目に向って歩を進めるこの年、三笠ニューズも今回一〇〇号を迎えました。三笠は次のステップを目ざして前進を続けるためにも、生産体制を更に見直し、今までは違った技術も身につけると共に、三笠グループの団結力を示す年にしたいと考えております。昨年は小型コンクリートカッター、小型プレートコンパクター二機種四型式のミニサイズの最新製品をはじめとし、国内向けには、冷却風がケースのなかを循環して、モルタルのはねをシャットアウトした画期的な新型モーターを使った小型のバイブレーターを投入し、大きな反響を呼びました。

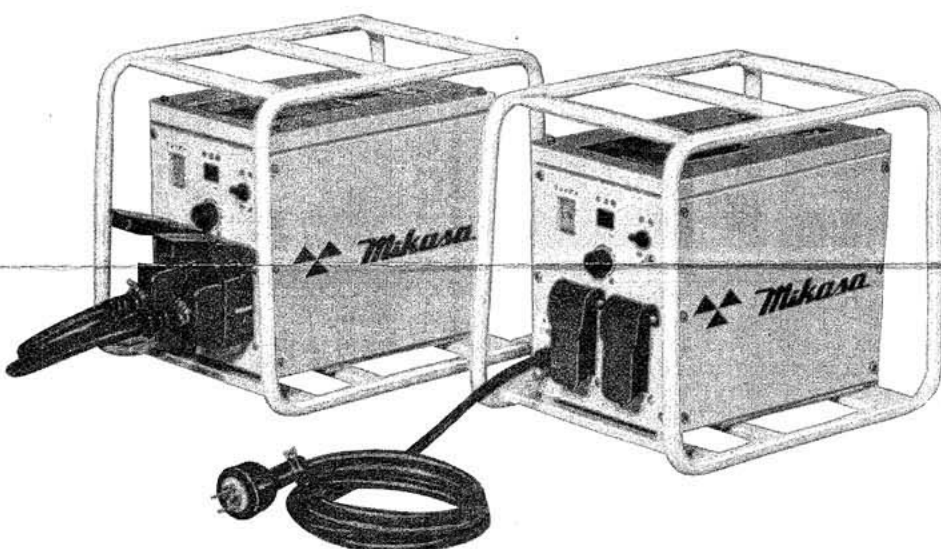
本年も引き続き、昨年を上まわる勢で、二十一世紀へ向けての商品開発に拍車をかけ、完成度を一層高めるため全力を傾けて参る所存でございます。何卒、今年も変わらぬお引立ての程お願い申し上げます。

新しい高周波電源

三相200V用インバーター

FV-2500型

新登場



(右2500型、左は1500型)

軽くて扱い易く仕上りのきれいな高周波バイブレーターの新しい動力源FV-2500型高周波インバーターが登場した。

FV-2500は昭和六十年の発売以来その信頼性を高く評価されている単相100V用インバーターFV-1500の能力を有する当社のFC-2N型コンパクターに比べ約12kg軽いもので、数々の優れた特長を持

ターとの比較では18kg以上も軽く、加えて本体を保護するガードフレームは持ち易く、積み重ねにも便利な構造になっている。軽くて使い易い高周波バイブレーターの行動半径を更に広げてくれる。

また、インバーターのひとつの大きな特長として、出力周波数が微調整できる事が上げられる。操作パネル上のダイヤルを回して180Hz~240Hzの間で連続的に変化させることが出来、その周波数がデジタル表示されるので作業に合った周波数を選ぶことが出来、高周波バイブレーターの振動数を調節して仕上りの良いコンクリートを効率良く作ることが出来る。

しかし電子機器は熱や水分、ホコリ等に弱い。コンクリート打設の現場は電子機器にとって苛酷な条件となるわけだが、三笠のインバーターは、トランスとインバーターを分離し、トランスで発生した熱がインバーターに伝わりにくくするとともに冷却ファンを取り付け、強制冷却方式とし、半閉鎖型の構造になっている為、ホコリや水滴が内部に入りにくくなっている。

しかも三笠のインバーターは保護回路を内蔵して、過電流が流れたり過熱したり、あるいは入力電源に異常が発生した時は直ちに運転を停止するとともにトラブルの原因をデジタルで表示するので重大事故を未然に防ぐことが出来る。

新登場のFV-2500インバーターは高周波バイブレーター(インヘッダー)や高周波小型自振モーター(トントン)の性能をフルに発揮させる新しい動力源です。

またFV-2500の登場と共に、単相100V用のインバーターFV-1500にもガードフレームが取り付けられ、持ち運びと積み重ねが容易に出来る形となりました。電源に合

せて、三相200V用のFV-2500、単相100V用のFV-1500をお使い下さい。

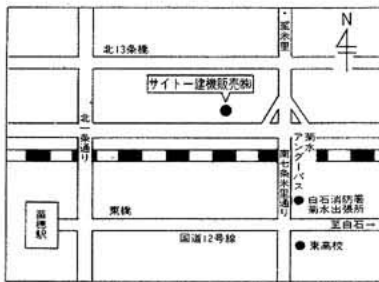
FV-2500型仕様

入力	電圧	三相200V ±20V
	電流	3.4KVA 10A
出力	定電圧	2.5KVA 三相48V
	電流	30A
相数	周波数	180Hz~240Hz (ダイヤル微調整式)
	相数	3相
寸法	長さ	455mm
	幅	345mm
重量	高さ	390mm
	重量(kg)	32
バイブレーターの使用本数	FH30A型	8本
	FH50N型	3本
	FH40N型	4本
	FH60N型	1本

北海道地区 三笠部品センター開設 迅速な部品供給と サービス体制の強化を計る



斎藤社長と
部品センター



北海道地区に於ける部品の在庫、供給拠点となる北海道三笠部品センターが去る十二月一日に開設され、その取扱業務をサイトー建機販売株式会社(本社札幌市白石区 社長斎藤俊夫氏)に委託する事となった。サイトー建機販売(株)は道都札幌に創立以来十年目を迎えており、旭川方面に行く高速道路入口に近く、南七条米里通りを少し北に入った所に位置する。

同社は、当初より発電機とエンジン部品の取扱店として道内一円、主にレンタル業者を得意先として商売を行ない、その迅速な部品取扱業務は定評のあるところである。

今回の委託に際しては、三笠部品センターとして十分な部品在庫を確保。経験豊かな三笠専任の担当者も採用され、よりスムーズな部品供給を行なう態勢が整えられた。今後、札幌営業所としては、部品取扱業務全般がこの部品センターに移管したことにより、専属サービスマンによる巡回サービスを増やし、各地で修理講習会を開くなど、積極的なサービス体制の強化を計りたいと考えている。

部品センター住所
札幌市白石区菊水元町
一条二丁目七十三番(三〇四)

サイトー建機販売株式会社
取締役社長 斎藤 俊夫

電話番号
〇一(八七五)一八二〇代表
FAX番号
〇一(八七五)一八九九

第二回北海道三笠レンタル会 総会開催さる

寒さも日毎に増して冬の訪れも近い、十一月十日、札幌市中央区の札幌グランドホテルに於いて第二回北海道三笠レンタル会総会が開催された。

十日午後一時三十分同ホテル三階紅葉の間に北海道三笠レンタル会会員の皆様にご集合していただき、紅葉の間の一面に於いて三笠の最新型パイプレーターループ、輾圧機グループそしてコンクリートカッターについての説明がそれぞれの担当者から行なわれた。説明終了後、会員の皆様方には、直接手に触

らに三笠レンタル会会員の皆様と手を携えて共栄共栄、お互いの業績の益々の充実、発展を図りたいと心から念じている次第であります。と挨拶した。その後、今年三笠レンタル会に入会された、(株)旭川機械リース、(株)谷内の二社の新会員と、賛助会員として入会された、サイトー建機販売(株)の三社の方々が紹介され、大きな拍手をもって迎えられた。

続いて伊藤会長司会のもとに、第一期事業結果報告、そして第二期事業計画案、予算案も熱の入った答弁がかわされ第二期事業計画、予算が満場一致で可決、無事総会は終了した。

午後四時より同ホテル十七階「層雲の間」において懇親会が催され、さきほどの総会とは打って変わったリラックスムードの中、宴も夕闇とともにますます盛りあがりを見せた。

伊藤会長挨拶要旨
当会も早いもので定山溪の設立総会以来一年七か月を経過し第二期に入りました。

今年、政府も緊急経済対策の一環として内需拡大を行なう為に大型補正予算を組んだ事により各レンタル業者の皆さんも多忙ではないかと思えます。

この景気は私達レンタル業者にとっては、言うなれば「フォロウの風」と申しますか、この勢いに乗り遅れないように売上を上げると共に内容の充実をお互いに計って行く事によって北海道三笠レンタル会もまた内容を充実し拡大していくのではないかと思います。

八巻 記

山中産業(株) 新社屋落成

創立20周年を記念して 盛大に竣工パーティを開く



中野社長

山中産業(株)さん(中野勇社長
仙台市扇町三丁目四番二十三号)
では新社屋建設を進めていたが、

この程完成し去る十一月十八日盛大な披露パーティを開いた。新社屋は同社敷地内の旧社屋と対する場所に建設された。三階建ての社屋は総面積約五百平方メートルの堂々たるビルである。屋上の「山中産業」の看板は四号パイプスからハッキリと望めて扇町周辺では一段と目立って見える。ビルの外壁は同社のイメージカラーの薄いアイボリーホワイト。派手ではないが、「堅実」を表わしていることが読みとれる。一階は仙台営業所で、階段側の右手ショールームには三笠専用展示台の上にランマー、プレート、高周波パイプレーターループ等が整然と展示されている。二階は本社、見事なレイアウトの社長室、コンピュータ一室、応接室が連なり、豪華な内装に目を奪われる。三階は大会議室、小会議室の理想的な配列である。



(山中産業(株)さんの新社屋)

部に入った二重ガラスとなつていて、階段側の右手ショールームには三笠専用展示台の上にランマー、プレート、高周波パイプレーターループ等が整然と展示されている。二階は本社、見事なレイアウトの社長室、コンピュータ一室、応接室が連なり、豪華な内装に目を奪われる。三階は大会議室、小会議室の理想的な配列である。

また、宮城県リース業協会の阿部会長からは同業者としての中野社長のリーダーシップの高さに深く感銘しているという言葉が印象に残った。デンヨー(株)の大井常務の乾杯の音頭で宴に入った。会場には海の幸、山の幸が盛り沢山で、美しく配りされた行き届いたコンパニオン達のサービスで最近まれにみる豪華なパーティに百五十余名の時に応じコンテナハウスに移動

株 金剛建機 新社屋落成

記念大展示会開催



喜多社長

熊本市東区三笠代理店として
長年ご活躍頂いております(株)金
剛建機さん(喜多秀雄社長、熊
本市流通団地一丁目三十五番)



(株)金剛建機さんの新社屋)

る熊本市流通団地内の一面に敷地二二五〇平方メートルに延床面積四六二平方メートルの建物で二階が事務所、社長室、役員室、応接室、広いスペースをとったショールーム、二階が会議室からなる瀟洒な新社屋を完成され、又隣りには屋根付の展示場が有り、ここには三笠のローラー、カッター関係が展示されております。現在熊本市では、県を挙げて「日本一運動」というものを提唱し遂行されていますが、当流通団地にはこの「日本一」を誇る数多くの新しい設備と機械が備えられ、六十四年三月完成時には一〇〇社を超える企業が入居、他の企業団地には類の無い産業都市になるという事です。(株)金剛建機さんが、この着工一年目の流通団地にいち早く着目され、ここに新社屋を設けられた事は、常日頃、喜多社長様が申されている「積極果敢な未知への挑戦」のスローガンを、将来を配し実践なさった事と推察致します。式典当日、十時正面玄関にて、テ

を取り入れられる積極的なバイタリティーと探求心が発展の原動力であり又、修理、整備、部品供給、技術指導を含めたサービスにも力をそそがれる等、その地道な努力が本日を築き上げ、業界から絶大な信頼をよせられている基礎でありましょう。今年はいよいよ振りの内需拡大の追い風にのって事業拡大の好機とも言えます。新社屋のご完成を契機に一層のご発展とご隆昌を心からお祈り申し上げます。

佐濁 記

苦小牧市あけぼの町一―二―十三



伊藤社長

は壯觀でさえあります。しかし、
苦小牧の近くには自然もまだ多
く残されていて、支笏湖、ウト
ナイ湖等には多くの観光客、ハ
イカーが訪れます。

お客さまを

訪ねて

檜崎リース株式会社

札幌市白石区厚別東五条八丁目八一

北海道三笠レンタル会の副会長をしていただいております樋崎リース(株)八木正徳社長さんの本社は、札幌市の東に位置する白石区にあります。札幌市と旭川市を結ぶ主要国道十二号線に面しており、近くには、北海道開拓百年記念塔がある大きな森林公園があります。札幌の副都心として近年開発されてきただけに、整然と立ち並んだ住宅が目を引く地域でもあります。樋崎リース(株)さんは、昭和四十四年樋崎石油商事(株)のリース部門として発足。リース・レンタル業としての基盤を着々と整備、発展され、その間、四十四年函館、四十五年釧路、四十六年苫小牧、室蘭、旭川、四十七年帯広と各営業所を全道主要都



八木社長

大に依り、五十五年五月には、
檜崎石油商事(株)より分離独立し
て、現在の檜崎リース(株)と社名
を変更。その後五十六年静内、
五十九年帯広(西)、六十年には

A black and white photograph showing the exterior of a large, modern building at the University of Illinois. The building has a long, low profile with a series of windows. A sign on the right side of the building reads "UNIVERSITY OF ILLINOIS". In the foreground, there is a paved area with some utility poles and a sign that says "UNIVERSITY OF ILLINOIS". The background shows some trees and a clear sky.

リース、レンタル業に進出され昭和四十四年には、リース・レンタルの拡大にともない北海産業機械㈱を独立させ、ますますリース・レンタル業を拡張されました。

昭和四十七年から、札幌支店（森川支店長）を開設され北海道の中心都市札幌へその第一歩をしるし、昭和五十三年には、事業の拡大にともない、北海産業機械㈱を合併されまして、現在の社名であります北海産業㈱に変更されました。その後砂川（小塚所長）、静内（松原所長）と営業所を増やし、今年四月には、室蘭営業所（伊藤繁昭所長）を開設されました。北海産業㈱さんは、社長、専務を始め、社員の方々が明るく、堅実であり、これが北海産業㈱さんの第一の特長と云えるでしょう。このような社風が事業の拡大につながり、現在の優良企業へと発展さ

札幌支店の出先として札幌北営業所をだされました。樫崎リース(株)さんの営業方針のひとつである全道各地に支店サービスマネジメントを網羅する事を、大きな目標とし、又成就しつつあります。この躍進される樫崎リース(株)さんに、三笠製品を各種多数納入させていただいております。大手レンタル業者さんだけに、小型機から大型機まで、建設土木に必要な機械を全て所有されておりますが、特筆すべきものとして、濁水処理機、ナトム工法用

ますが、社員の方々は明朗闊達で、これも長い社歴の中で培かれたものであります。陣頭指揮に立っておられる八木社長さんは、営業方針を的確に押し進める堅実さの一方で、温和人柄でゴルフ、読書などの趣味を持ち、カラオケ好きは人間味あふれる社長の一面をみせておられます。

八木社長さんのもと、今後ますますの御発展と社員の皆様の御健勝を心から御祈念申し上げます。

神田 記



神田記

れました。緻密な営業方針のひもとくとして、苫小牧本社を中心に、支店、営業所の距離は、自社機を営業所間で、やりとりできる範囲においてあり、稼働率の高さが利益を生んでおります。

三笠製品は、バイブレーターから始まり、ランマー、プレート、カッター、水中ポンプ、特殊なものでパイルハンマー、アースオーガー、最近では電動ランマーも購入していただき、三笠のカタログがそのまま、レンタル機であるように品揃えされている感じです。多忙な伊藤社長さんの趣味は、なんとと言っても釣りが代表格であり、レーダー、魚群探知機を装備した、全長十メートルのクルーザーをお持ちになっており、春夏秋冬、休みの日には魚を追求めて大海

原へ。これが明日への活力源になつておられるようです。今後
も益々お忙しくなれると思ひ
ますが、社長さんはじめ社員
みなさまの御健勝を心から御
念申し上げます。 神田 記

栄進産業機械株式会社

北見市東相内町一七三

今から九一年の昔、明治三十と三十一年の両年にわたり原始林と風雪の中で開拓の為、全国各地より入植した屯田兵と明治三十年に四国より入植した北光社移民団の先人の方々が飢えと寒さを克服して開拓の斧をふるい、ひたすら土に生きぬいた血と汗の結晶が今日の北見十数万都市の礎となったのである。

気候は厳しく本格的な春は五月に入ってからで、逆に冬の訪れは早く、又長い。真冬ともなれば氷点下十五度や二十度はざらで、地中凍結も一メートルは有に達するほどです。その厳しい気候の中で栄進産業機械株式は、北見市内で建設機械のリース、レンタル、販売業を営んでいる。栄進産業機械株式は、北見市民憲章前文の冒頭にある「すみきった明るい北見の空」のように社長が自分から陣頭指揮をとって社員の皆様は一致団結して明るく、活々と仕事に従事しています。会社を訪れるお客様と事務所でごやかに談笑されている様子を拝見していると稲垣社長さんのお人柄が窺えるようです。



稲垣社長

ここで稲垣社長さんを少し紹介いたしますと、昭和五年二月十六日生まれの稲垣社長さんは、教師生活を経て昭和四十六年五月栄進産業機械㈱を設立されたと言う異色の経歴の持ち主

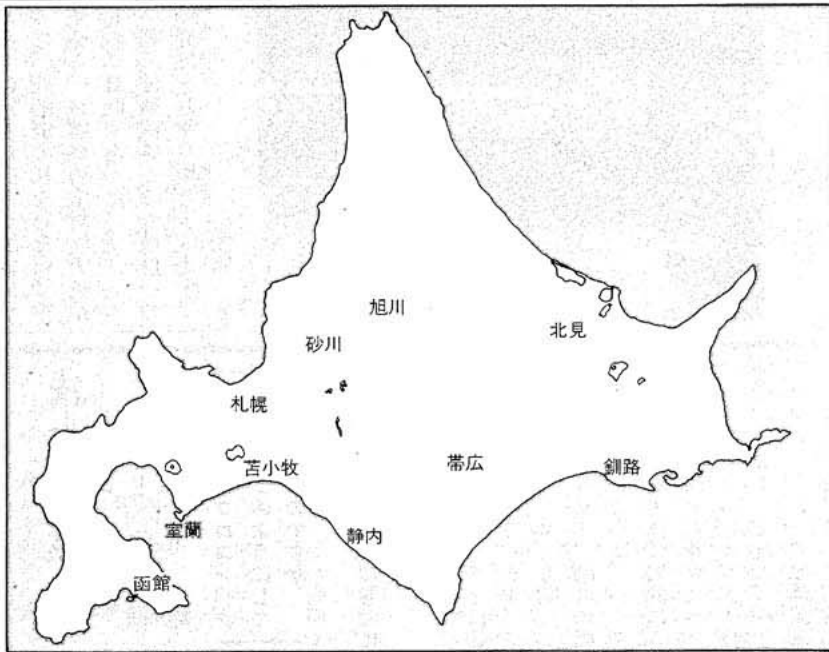


人望篤く、現在北海道建設機械リース業協会副会長の要職に就かれています他、北海道三笠レニングル会の理事もお願いしております。趣味のゴルフは、自称シニングルの腕前との事で、お客様同業者の皆さんやメーカー等との交流にも役立っているようです。

栄進産業機械㈱さんの今後益々の御発展と皆様の御健勝を心からご祈念申し上げます。

八巻 記

八卷
記



東京建機展開催

昭和六十二年度

昭和六十二年度の建設機械展示会が十月十五日(木)から十八日(日)まで、四日間に亘り東京都江東区青海一丁目の東京港十三号埋立地にて、(社)日本建設機械化

であったが、最終日は汗ばむほどの好天に恵まれ、新鋭の建設機械を見ようと訪れた人数は、協会調査によると期間中を通じて六万二千五百人に達した。

協会の主催により七十二社が参加して行なわれ、三笠産業も高周波バイブレーター、ランマー、プレート、振動ローラー、コンクリートカッター等の主力新製品を出品した。

この度の会場は首都高速湾岸線の十三号地ICを出て「船の科学館」の前。あいにく台風十九号の影響を受け、初日と二日目は激しい雨。三日目の土曜日は強い風に見舞われ、看板や屋根が吹き飛ぶなどの被害も一部

